

茨高  
茨中

# 春 秋

発行  
茨高・茨中 P T A  
代表 鴨志田 剛  
編集  
茨高・茨中文化広報委員会  
水戸市八幡町16-1  
電話 029(221)4936  
茨高・茨中公式ホームページ  
<http://www.ibaraki-jsh.ed.jp>  
印刷 いばらき印刷㈱



ご卒業おめでとうございます！  
PTA会長 鴨志田 剛

希望に満ちた佳き日に、輝かしい学校生活を終えて新しいステージへと歩まれる卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。PTAを代表し、心よりお祝い申し上げます。

また、本日まで深い愛情をもって卒業生の皆さんを育ててこられた保護者の皆様にも、心からの敬意と感謝を申し上げます。お子様の成長を間近で見守り続けた年月は、喜びもひとしおのことと存じます。

振り返れば、入学時の初々しい姿が昨日のこのように思い出されます。私自身、学校を訪問するたびに皆さんからの元気な挨拶や、皆さんの輝く瞳に励まされてきました。特に、茨城中学校・高等学校という異なる校種・学年の生徒たちが互いに刺激し合い、時には助け合えるという恵まれた環境の中で、学習活動や部活動、様々な学校行事に対して主体的かつ真剣に取り組む姿は、本校の誇りでありました。そして、目標に向かって努力し、困難を乗り越える中で育まれた「非認知能力」（創造力やレジリエンスなど、数値では可視化できない内面的スキ

ル）は、皆さんにとつて将来の大きな糧となるはずで

す。これからは、それぞれの夢や目標に向かって自らの未来を切り拓いていくことになりませう。社会に出れば、予期せぬ困難や

試験に直面することもあられるでしょう。しかし、本校で身に付けた知識と経験に加えて、ともに笑い、時には涙した友人たちとの絆は何物にも代えがたい財産であると同時に、皆さんを必ず助けてくれるはずで

す。そして、どのような時でも建学の精神である「報恩感謝」の気持ちと「向上心」を忘れず、誰に対しても「誠実で信頼される人」であつてくださ

い。結びになります。卒業生の皆さんのこれからの未来が、ますます輝かしいものとなることを心より祈念いたします。また、これまで本校の教育活動にご尽力くださいました先生方、PTA活動にご理解とご協力を賜りましたすべての関係者の皆様に、改めて厚くお礼申し上げます。

卒業生の皆さん、思う存分未来へ羽ばたいていってください。



明日を編む  
校長 梶 克治

なぜそこまで打ち込めるのか、謎としか言えない。見苦し

いと思ふときがある。だけでもし俺に、まじめにとつての辞書にあたるようなものがあつたら。西岡はついで、そう夢想してしまふのだ。きつと、いまとはまったく異なる形の世界が目

に映るのだろう。胸苦しいほどの輝きを帯びた世界が――

小説『舟を編む』三浦しをん  
魅せられ、辞書づくりに情熱を燃やす人々の物語です。出版社、玄武書房で、新規の国語辞典『大渡海』編集プロジェクトが始動します。『大渡海』という名称には、「辞書は、言葉の海を渡る舟だ。海を渡るにふさわしい舟を編む」というベテラン編集者荒木の思いが込められています。定年を間近に控えた荒木は、今時でノリの軽い若手編集者西岡に、自分の後継となる編集者を探さよう命じます。

白羽の矢が立ったのは、西岡と同一年の馬縮光也（まじめみつや）。ひょろりとした長身、ぼさぼさのくせ毛に銀縁眼鏡の馬縮は、その名のとおり「バカ」がつくほど真面目です。その真面目さは、恋した女性に漢詩を引用したラブレターを出すくら

い徹底しています。純粋すぎる馬縮は、常に周囲から「変わったやつ」と評価されてきました。そんな馬縮の友人は本でした。本を通じ言葉に興味を持った馬縮は、大学で言語学を専攻します。「右」と聞くと、それは方向としての右か、思想としての右か、その場で考え込んでしまふほど言語に強いこだわりを持つ馬縮は、徐々に『大渡海』編集チームの信頼を得ていきます。自分を認めてくれる仲間たちと出会い、辞書編纂にのめり込む馬縮。一方で西岡は、その変人ぶりにあきれたつても、馬縮に尊敬と友情を感じ

るようになっていきます。そんなある日、突然、西岡に宣伝広告部への配置換えの命令が下ります。それを機に、辞書編纂なんてただの仕事、と考え

ていた西岡の心境に変化が生じます。『大渡海』編集部を去ることの寂しさだけではない、それは馬縮への嫉妬、自分にはない夢中になれる何かを持つ馬縮に対する嫉妬だと、西岡は気づくのです。

夢を持つと、と言葉にするのは簡単です。しかし現実には夢を持つことは簡単ではありません。馬縮のように夢中になれる

何かがあり、ましてそれを仕事にできる幸運な人は、ほんの一握りでしょう。多くの人は、自分の夢を探しあぐね、日常に埋没していく自己を抱えながら生きていくのではないのでしょうか。

人は皆、日々の暮らしを編みながら明日を築いていきます。それはどこか、馬縮たちが言葉を編み辞書を作り上げていく作業に似ています。そこには、まばゆく光り輝く夢などないかもしれませぬ。しかし、誠実に、懸命に明日を編み上げていく中で、進むべき道がおぼろげに見えることがあるものです。

『大渡海』編集部を去る西岡は、編纂に不可欠な、気難しい辞書執筆者たちに関する事細かな個人情報を一冊のファイルに残していきます。馬縮の夢は、いつの間にか西岡の内に宿り、西岡の夢となつていたのです。

およそ百年前、飯村丈三郎先生は、報恩感謝という思いを編み、茨城高等学校・中学校という夢を後生に託しました。報恩感謝の教えは、学び舎を巣立つ君たちの中に結実し、長きにわたつて明日を照らす光となるはずでしょう。答えのない問いに恐れることなく対峙し、なし得るあらゆる手段で挑み、未来への希望を編み続けていってください。よい人生を歩むことを祈念します。卒業おめでとう。

卒業おめでとう。

# 高校卒業おめでとう



道の途中  
高校三年学年主任 長谷部将司

高校三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。大学受験真っ只中の、まだ大多数の進路が決まっていない中で、卒業式という事で、「めでたさも 中くらいなり おらが春」な人も多いでしょう。でも、それはそれで全く問題ありません。人生の節目はその前後が揃って初めて「節目」と言えますが、未来は常に未知数です（六年間）を過ごすことができます。

た証でもあるのです。是非、この三年間の自分自身に自信を持って次のステージに進みましよう。とはいえ、三年前とは異なり、今回の卒業後には親元を離れるなど生活環境が一変する人も多いでしょう。既に法的には「成人」ですが、現実的には「成人の自立のスタートラインです。」「良き大人」とは何か、自問を繰り返すことができる人になって下さい。



卒業に寄せて  
高校三年A組担任 阿久津一将

卒業おめでとうございます。

「艱難（かんなん）汝を玉にす」。この言葉は、「人は多くの困難や苦勞を経験することによって、立派な人物になる」という意味です。もはや古臭い言葉ですか？ 昨今、困難や苦勞をできるだけ回避するような風潮が、世の中にはあります。しかし、それらから逃げていては、成長はありません。今年受験に立ち向かい、苦勞を重ねた君たちは、とても美しい「玉」になったことでしょう。これからも困

難や苦勞から逃げずに、自分を磨き続け、さらに美しい「玉」にしていってください。今度壁にぶつかった時も、18歳でできたのだから、きつと乗り越えられるはずですよ。数多の困難や苦勞を乗り越え立派になった君たちと、コーヒーでも飲みながら人生について語り合える日がくることを、この学校で楽しみに待っています。強く美しい大人になってください。改めて卒業おめでとう！



卒業にあたって  
高校三年B組担任 荻谷 英子

ご卒業おめでとうございます。新たな門出を皆さんとともに迎えることができ、大変嬉しく思います。また、保護者の皆様にはご理解とご協力を頂き、改めて厚く御礼申し上げます。さて、高校生活を振り返ってみると、どうでしたか？ 三年間の学校生活では、毎日の授業に部活動、多くの学校行事があり、仲間との貴重な時間など、様々な時間を過ごしたことで、一年間で皆さんが大人になりました。

また。教室での何気ない会話は楽しく面白く、時には落ち着いたやりとりがありました。また、耳が痛い話もしましたが、自分の意見や気持ちを伝えると同時に、耳を傾け、真摯に受け止めていました。その姿勢から大人になったと感じました。これからは次のステージに向かっています。素晴らしい出会いが待っています。謙虚さを忘れず、感謝の気持ちを忘れず、前向きに進んでいきましょう。これからも応援しています！



卒業生への言葉  
高校三年C組担任 原 健一

年末にインフルA型罹患。大晦日に病院にいらるのは人生で初めてだ。高熱にうなされながら、締切の過ぎた原稿を考えると、毎朝SHRに行き「おはよう」と挨拶をすること。皆の顔をしっかりと見ること。声を聞くこと。そして自らの背中を見ることが。教師の役割はそれだけだよ。たとえそれが、どれだけ頓馬で間抜けな背中であろうとも。だが最後まで頓珍漢な背中のままだった。3年間で自分はいったい何を伝えられたのだ





### 高校卒業おめでとう

高校三年D組担任 田中 優志

良い先生(学校)とは何でしょう。近現代教育を拓いた著名な教師・教育学者である大村はま先生(1906-2005)は著書「教えるということ」の中で「わたしを受け持った卒業生は、『先生のことを忘れな』と言ったこともないし、また、私も忘れてほしいと思っています。わたしは渡し守のようなものだから、向こう岸へ渡つたら、さつさと歩いて行ってほしいと思います。」と述べています。

「報恩感謝」からすると、先生や学校を忘れるというのは寂しい話です。しかし「報恩感謝」の本質は、過去を大切にすればかりでなく、それを糧として次のステージを歩み、学び、衆生の恩に報いてより良い世界を作っていくことではないでしょうか。私たちのことなど忘れるほど次の学びに励み、共により良い世界を作りましょう。

もう1年やる人。大人になると分かりますが、人生の一年、二年はさして重要ではありません。重要なことは、夢を叶えること。君は正しい選択をしました。



### 高校卒業おめでとう

高校三年E組担任 小泉 悠斗

高校三年生のとき、化学の授業が面白かったことをきっかけに高校の化学の先生を目指すようになり、教育学部の理科選修に入学した。入学後、周囲の友人が「理科以外の教員免許も取ってみようかな」と言っていたのを聞き、自分もやってみようと思った。理科なら数学では?と、安易な考えで数学の授業を取っているうちに、気が付いたら大学四年生で、数学選修の研究室に入り、気が付いたら数学科の大学院に進学していた。そして大学院二

年生、就職活動をしなければならぬ年、たまたまこの学校で一名の数学教諭の採用枠ができ、この学校に来るに至った。この十数年を思い返せば、些細なきっかけや偶然起きた出来事ばかりを積み重ねてこまて来た。出来事が一つでも違えば、私はこの学校にいなかったであろう。人生はいつ何が起るか、数秒前に起きた出来事が、数年後、数十年後どのように作用するかわからないものである。卒業おめでとう。



### 高校卒業おめでとう

高校三年F組担任 戸崎 嘉

「涙はしょっぱい」こんな常識が僕の中にはある。調べると、悔しい時に流す涙はしょっぱいが、感動した時に流す涙はほんのり甘いらしい。

今年文化祭、君たちが頑張った作り上げた企画に並ぶ人達の表情や、せかせかと働いている君たちを見るのが嬉しくて、気づけば二日間集客係の仕事をしてしまった。そして二日目の結果発表。第一位で3Fの名前が呼ばれたとき、何かが溢れて涙が出そうになった。クラスマッチで優勝した時や、君

三年間を振り返ると、ここまでの道は常に道なき道を歩いているようでした。ゴールは見えないのに道がない。それでも進んでみると元に戻る。なかなか一筋縄ではいかない道を歩いてきましたが、いよいよゴールです。皆さんは自信を持って卒業してください。しかし、ここからが本当のスタートです。次のゴールは無数に存在し、道は在るだけましでその殆どが存在しません。時には真偽が分からないま

たちが頑張った結果を出した時も、毎回涙が出そうになっては恥ずかしいから我慢してきた。君たちは心から熱くなれるものは見つかった?今後それを見つけたら本気で向き合ってください。向き合った人だけにしか見えないものがあつて、それを見た回数が人としての厚みになるからね。

この文書が出たときは君たちの卒業の日。ほんのり甘いのか確認できる日。卒業おめでとう。君たちの帰れる場所はしっかりと守っておきます。



### 高校卒業おめでとう

高校三年G組担任 秋山 崇

三年間を振り返ると、ここまでの道は常に道なき道を歩いているようでした。ゴールは見えないのに道がない。それでも進んでみると元に戻る。なかなか一筋縄ではいかない道を歩いてきましたが、いよいよゴールです。皆さんは自信を持って卒業してください。しかし、ここからが本当のスタートです。次のゴールは無数に存在し、道は在るだけましでその殆どが存在しません。時には真偽が分からないま

ま道なき道を覚悟し進んでいかなければなりません。それでも諦めず希望を持って進めば必ずゴールに辿り着けるはず。最後に、私が印象に残っている言葉を送ります。「新しい道を拓くのは、敗北を怖れ闘いを避ける賢さではなく、ギリギリの戦いに挑む若さだと思えます。」

ご卒業おめでとうございます。



# 先生からのメッセージ



高校三年学年付 遠藤 康  
それぞれ違う緯度・経度から集まった皆さんが、茨城高校という地図の上で同じ時間を共有した三年間。時には迷い、遠回りした道のりは、確かな座標として残っています。

これから進む先は別々でも、自分で描く地図を信じてください。

卒業おめでとう。



高校三年学年付 坪井明日香  
君たちと一年間過ごしてみて、とても素直で真面目な生徒たちだと感じました。素直な人は学ぶ機会に多く恵まれ、真面目な人は時間がかかっても必ず花を咲かせます。君たちの前途はきつと明るいでしょう。卒業おめでとう。これからも、そのままいてください。



高校三年学年付 滑川 利美  
卒業おめでとうございます！あなたの達の成長を見守ることができて光栄でした。この先のご活躍を心よりお祈りしています。

「未来は君の手の中！最高の人生を！」



高校三年学年付 加倉井 東  
昭和二年五月第三回茨城美術展覧会が開かれた時、飯村丈三郎先生は白内障でほとんど眼が見えなかった。しかし先生は百点近い入選の前に立ち半日をかけて一つ一つほとんど撫で摩るように説明を聞いたそう。先生は人を本気にさせる術を心得ていたようだ。



高校三年学年付 島 正昭  
一年生から授業で関わらせてもらっていましたが、感慨もひとしおです。かの Jobs 氏が connecting dots だといいましたが、受験、就職そのほかの局面でプロセスを大事にして人生を歩んでいってください。卒業おめでとうございます。

## ～高校卒業にあたって～



高校三年A組 武士 晃大  
卒業式の日を迎え、胸に込み上げる思いで、この瞬間を迎えています。三年間、笑った日も悩んだ日も仲間とともに過ごした一日一日のすべてがかけがえのない思い出の一ページとなりました。ともに歩んできた仲間たち、温かく導いてくれた先生方、いつも背中を押してくれた家族に心から感謝いたします。これから私達はどこで得た多くのことを抱きしめながらそれぞれの未来へ進みます。皆様に深い感謝を込め、卒業の言葉といたします。



高校三年E組 田中 俊成  
本当にあつという間の三年間でした。毎日の休み時間や文化祭、クラスマッチで友達と笑い合った日々、そして受験期の仲間たちと放課後残って勉強した日々でさえも本当に幸せだったと感じています。特に、部活動で汗を流しながら必死に努力した経験は何物にも代え難いものでした。本当に楽しく充実した日々で、このまま高校生活がずっと続いてほしいときえ思います。茨城高校で三年間学ぶことができ本当に良かったです。



高校三年B組 滑川 大翔  
お世話になった先生方、そしてどんなときも一緒にいてくれた友達、本当にありがとうございました。振り返ると高校生活は一瞬で過ぎ去ったように感じます。それでも部活動に打ち込んだ日々、クラスメイトとの絆が深まった学校行事、何気ない日常で笑いあっていた時など、三年間重ねた記憶は一生の宝物です。こんな貴重な時間を過ごすことができた茨城高校の素晴らしい伝統がこれからも受け継がれていくことを願っています。



高校三年F組 濱本 一惺  
コロナ禍から始まった私たちの学校生活は、リモート授業などの特殊な状況や未知のウイルスへの不安を抱えながら始まりました。それでも互いに支えあい、学び続けたことが、いまの私達を作っているのだと思います。そしてこのような状況下を含め、これまでご指導してくださった先生方には、心から感謝の意を伝えたいです。そして私は、この日々を忘れず、努力し続けていこうと思います。



高校三年C組 浅野 和奏  
私は茨城高校、そして国際教養コースでの三年間を通して「主体性」を育むことができました。普段の授業を始めとして、長期の留学や探究活動など、どれもが私に主体的な姿勢を求めたものでした。主体的に取り組むことで、高校生活を自分の将来に向けたとても有意義なものにできたと自負しています。三年間で関わったすべての方々への感謝を忘れずに、その恩に報いることができるよう、大学においても自分を研鑽していきます。



高校三年G組 立山 沙都  
日々慌ただしく時間に追われるうちに、気づけば卒業が目前に迫っていた。高校生活で何を学んだかという問いにはつきりと答えるのは難しい。だが、私は私何が何も知らないということを知ることができた。やはり倫理選択は正しかった。人生の三分の一もの長い時間を過ごした茨城中高と、愉快な友人たち、そして私の愚かさのために大変な迷惑と面倒をおかけした先生方に、報恩感謝の思いを込めて。ありがとうございます。



高校三年D組 川島 樹  
高校三年生のみなさん、卒業おめでとうございませう。振り返ると、この三年間の高校生活はあつという間でした。文化祭や研修旅行などのさまざまな行事を通して多くの思い出を作り、毎日を充実して過ごすことができました。このように日々を送ることができたのは、茨城高校の先生方、友達、そして家族の支えがあったからだと思います。多くの方々への感謝を胸に、高校生活で得た経験を今後一生に生かしながら、新たな一歩を踏み出していきたいです。



# 中学卒業おめでとう



中学三年学年主任  
**及川 純**

中学三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。

皆さんが茨城中学校に入学したのは、ようやくコロナが終息し始めた時でした。様々な制限からの解放。その上で、「いろいろな物事を見て、触れて、感じる事ができる機会をたくさん用意しよう」、「気兼ねなく仲間と関わりあえる雰囲気をつくらう」という点を目標に掲げて、新学年がスタートしました。

その想いを、皆さんはしっかりと受け止めてくれました。多くの行事や企画に積極的に参加し、様々な体験をしながら素晴らしい仲間に関まれ、真つすぐに成長してくれました。本当に嬉しい限りです。

今、中高六年間の振り返り地点に立っています。義務教育が終わるこの節目は、実は人生の中でも大きな転機です。これから先、困難に直面することもあるかもしれませんが、これまでの努力と経験、そして何ものにも代えがたい仲間が存在が、皆さんの支えとなるはずですよ。



中学三年A組担任  
**野口 綾音**

ご卒業おめでとうございませう。この三年間で皆さんは学びだけでなく、人としての基礎を大きく成長させたことでしょ。皆さんの努力があったことは勿論ですが、家族や友人、支えてくれた多くの人への感謝も忘れずに。将来の社会への恩返し準備期間は、高校からは自由度が増します。中学以上にあつという間の三年間です。自律したうえで、失敗を恐れず、多くの挑戦を前向きに重ね、自分の可能性を切り拓いていってください。活躍が楽しみです！



中学三年C組担任  
**小泉 智寛**

ご卒業おめでとうございませう。どうせみんな同じ学校に進学するし、何も変わらないよ、と思っているかもしれません。ですが、義務教育を終えた皆さんは、一人の主體的に選択をする人間として、社会の一員と見做されるようになるのです。中学一年生として入学してきたあの日から、この三年で君たちはずいぶん（ときに驚くほど）大きくなりました。これからの三年も、この世界で生きる一人の人間として成長を続ける、実り多いものであることを願います。



中学三年B組担任  
**濱村 純平**

ご卒業おめでとうございませう。この三年間は本当にあつという間でしたが、とても濃い充実した時間でした。人それぞれいろいろなことがありましたね。私もこの三年間はいろいろありました。善し悪しはあるかもしれませんが、それらは全てこれからの人生の糧なんだと思いましょ。『あのときこんなことあつたな』と十年後に笑い話をする。これが私の小さな夢です。誰かこの夢に付き合ってくれればいいな。話のネタ集めにこれからもたくさん楽しみましょう。



中学三年D組担任  
**中山 佳紀**

あなたの人生を生きるといふこと  
「あなたの人生は、あなただけのものだ」。三年間言い続けてきた。親のため、教員のため、友人のためではない、あなただけのもの。自分の人生の味を噛み締めて欲しい。今すでにそう思っているなら、実はそう思うまで周りの人に支えられてきたからだ。だからお世話になった人に、感謝の気持ちを持って欲しい。そしてその恩は、社会に返して欲しい。人に思いを繋いでいくことが、私たち人間の責務だ。



中学三年学年付  
**小林 秀樹**

中学課程の修了おめでとうございませう。高校という新たな段階では、環境は大きく変わらなくても、求められる姿勢や責任は確実に高まります。この節目を新しい自分を始める機会とし、挑戦を恐れず失敗を恥じず、仲間と支え合いながら一歩一歩成長を実感しつつ夢へ進んでください。高校生活が充実した日々となり、自分の可能性を広げてください。皆さんの今後の活躍を心より期待しています。



中学三年学年付  
**須藤 岳志**

卒業、果たして何からの卒業か。校舎も変わらない、クラスメイトもそのまま、高校受験もない。六年一貫制度では中三高一と続く知識発展統合期の一年目、公立の小中一貫校では一グリードから九グリードとその連続性をアピールします。しかし、君たちは卒業します。我々もこの区切りが必要だと確信しています。なぜその確信があるのか、君たちも考えてみてください。だからあえて言います。卒業おめでとう！



中学三年学年付  
**高木 啓太**

卒業おめでとうございませう。中一の遠足でのBBQが、つい最近のように思い出されます。体育祭や林間学校、研修旅行等みなさんは全力で取り組み、あつという間に卒業を迎えたと思います。高校では人生に大きく影響する大学受験も控えており、さらに早く時間は過ぎていきます。一日一日を大切に充実した三年間を送ってください。





# 3年間を振り返って



中学三年A組  
谷 颯人

何もかもが目新しく、あつという間に過ぎていったこの三年間で、僕は多くを学び大きく成長することができました。入学当初は新しい環境に不安を感じ、授業や友人関係に戸惑うことも多くありました。しかし、部活動や学校行事、個性豊かな二十九期生との日々の学校生活を通して、協力することの大切さを学び、僕自身の考え方を広げることができました。特に部活動では、バレー部として毎日の厳しくも楽しい練習を通して先輩方と関わり、大会に向け仲間たちと共に努力するなどといった学生のうちにしかできない貴重な経験を積むことができました。時には迷い、失敗しながらも楽しんで過ごせたこの三年間で学んだことを生かし、高校ではより一層精進していきたいです。



中学三年B組  
会沢 愛琉

僕が三年間を振り返ってみて最初に思ったことは、「忙しかった」と「大変だった」です。一年生では小学生の時の環境の変化で慌ただしく、二年生では部活で最上級生になり後輩の面倒を見て、三年生では後期学級委員長になったり、進路を決めたりと色々ありました。ですが、この三年間で一番大変だったのは一貫して勉強です。一年間で六回の定期テストと、学力推移等の外部模試による成績上位者の発表が一番のプレッシャーです。だからこそ勉強をする意識を持てました。僕達生徒が勉強を大変だと思いうように、親や先生方が大変だと思いがちな支えてくれたらと思うと本当に感謝でいっぱいなんです。とても楽しい三年間でした。ありがとうございました。



中学三年C組  
茅根 実愛

ブカブカの制服に袖を通し、不安と期待を背負いながら校門をくぐった入学式から、はや三年が経ちました。今振り返ってみると、授業やテスト、部活動、学校行事等の、たくさんさんの思い出がよみがえってきます。三年間を通してさまざまなことを学んで、経験し、楽しいことも苦しいことも乗り越えてきました。その中で、心も身体も大きく成長することができたと思います。そして春から私達は、また新たな一歩を踏み出します。高校でもより多くの困難が待ち受けていると思います。しかし、この中学生活で得た経験を糧に、精一杯頑張っていきたいと思います！先生方、保護者の皆様、これまで本当にありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。



中学三年D組  
大野真亜里

あつという間だった中学校生活。もう三年たったなんて信じられません。これまでの日々が昨日のことのように思い出されます。友達との何気ない会話、体育祭やクラスマッチ、合唱大会、林間学校、研修旅行など、どれも心に刻まれている大切な思い出です。たくさんの友達、優しい先輩方、生徒と親身に接してくださる先生方など、多くの方の支えがあったからこそ私の三年間は素敵な思い出でいっぱいになりました。中学校生活を通して、人として大切なことを学び、成長できたと思っています。「卒業」と聞くと寂しい思いになりますが、しっかりと前を向き、中学校での学びを活かして充実した高校生活を送れるよう精一杯努力していきたいです。



令和七年度文化広報委員

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 茨城中学校 | 菊池 将夫 | 近藤 朋子 |
| 高倉 麻里 | 植木ひとみ |       |
| 佐竹 裕哲 | 新井奈穂美 |       |
| 熊久保理恵 | 奥澤 博子 |       |
| 清水 典子 | 伊賀 恵  |       |
| 荒木 洋子 | 阿久津尚子 |       |
| 小越 里代 | 荒井みつほ |       |
| 関 彩子  |       |       |
| 茨城高校  | 荒井みつほ | 海野 祐子 |
| 塚本 一美 | 関 千尋  |       |
| 皆川 幸子 | 江戸 悟  |       |
| 田中 郁子 | 七字 一子 |       |
| 乗原 未来 | 市橋 順子 |       |
| 山下和佳子 | 青山 絵理 |       |
| 沼田 香  | 青木ルリ子 |       |
| 新川 智祥 | 植木 理恵 |       |
| 田村 容子 | 平戸 尚子 |       |
| 千勝 恵美 | 西原真由美 |       |
| 野村 優子 | 堀口 嘉子 |       |
| 深谷恵梨花 | 吉田 早苗 |       |
| 工藤 直美 | 和田 幸枝 |       |
| 菅原 友紀 | 大山健一郎 |       |
| 小林奈緒美 | 宮井 愛  |       |
| 永瀬 崇  | 柳澤 朋子 |       |

